

ユニークな新規事業を実現する過程で、 新たな自身の強みに気づき、事業領域を 拡大することに成功した！ 株式会社 ファントム

ビジネスモデル構築と
マーケティング支援

企業概要

父親の経営する栄伸工業(有)(空調設備設計・施工)に1年半勤務、持ち前のITスキルの高さから、同時並行で「不法投棄廃棄物監視カメラ」を新たに開発した。

栄伸工業(有)在籍時には、当社のIT回りや事務的な仕事に忙殺され、望むような商品開発が出来なかった。社長や役員という役職よりも自分が挑戦したいことに専念できる環境に身を置きたかったので、社長である父親を説得し、平成30年春に新会社を設立した。

開発にあたっては、群馬大学に積極的にアプローチした結果、熱心さが実を結び、AI(人工知能)による行動解析の共同研究を実現した。その後監視カメラの開発も進化し、廃棄物監視ではなく、現在深刻化している認知症患者の徘徊を予防する「認知症患者出入り見守りカメラ」へ移行し、開発・製造・販売を行うこととなった。



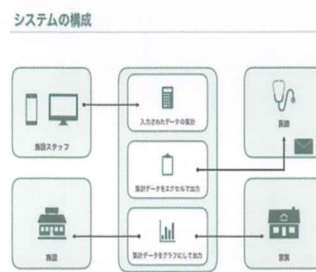
【監視カメラ CASPER】



【監視カメラ設置風景】



【骨格にボーンを入れるプログラム】



【業務効率化システム】

支援内容

当初は「不法投棄廃棄物監視」の目的のみだったが、市場規模に不安がある点を指摘し、再考を求めた。当人が調査したところ、発生件数の減少や設置場所が困難であることが判明したので、これは断念し、次なる目的として、「認知症患者をはじめとする高齢者見守りサービス」を志向することとなった。

このサービスに関しては、介護施設での稼働及び分析テストが必須であり、その介護施設を複数箇所紹介した。また当該サービスのビジネスモデル構築・キャッシュポイントの明確化、プレスリリースを初めとするプロモーションなどを総合的に支援した。更に新会社設立へのアドバイスも行った。

そのような介護施設と接点を持つていく中で、IT化が遅れているという現状が明らかになり、介護施設の経営者は石井氏の「希望に沿ったどんなプログラムでも作れる」といったITスキルの高さに舌を巻き、IT導入をお願いしたいというオファーに発展した。労働集約型の当業界で、IT導入による作業の効率化は非常に魅力的に映ったと思われる。こうして、「見守りカメラビジネス」と「介護業界へのIT導入」を2本の柱として、事業を積極的に展開している。

支援を受けた利用者の声

よろず支援拠点では多岐にわたってセミナーを開催しており、私自身、会社設立やプレスリリースに関するセミナーに参加して多くのことを学ばせていただきました。チーフコーディネーターには会社設立以前からお世話になっており、会社設立後もマーケティングや補助金申請など幅広くサポートしていただきました。おかげさまで新規案件の受注が決まりました！



代表取締役
石井 伸和 氏

企業データ

企業名：株式会社 ファントム
住所：群馬県桐生市相生町5丁目2091番地の7
E-mail：hello@fantom.co.jp
従業員数：1名

代表者：代表取締役 石井 伸和
電話：0277-32-3838
URL：https://www.fantom.co.jp/
業種：情報通信業



群馬県よろず支援拠点
公益財団法人群馬県産業支援機構